

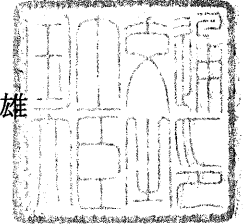


認 定 書

国住指第 2152 号
平成 17 年 12 月 21 日

大栄産業株式会社
代表取締役 木村 辰三 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第 35 条第 1 項の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
DW3N-0074
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式 ダイエー浄化槽 F C W 型
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別紙 1 の通り

構造方法の概要

1. 件名	固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式 FCW型
2. 処理区分	合併処理
3. 法令上の浄化槽等の性能	建築基準法施行令第 32 条第 3 項関係： <ul style="list-style-type: none"> ・放流水の BOD : 20mg/L 以下 ・放流水の SS : 20mg/L 以下 ・放流水の pH : 5.8~8.6 ・排水中に含まれる大腸菌群数 : 3,000 個/cm³ 以下
4. 設計	大栄産業株式会社
5. 維持管理頻度等	保守点検頻度 : 51~500 人 : 4 回/年 以上 501~1,500 人 : 12 回/年 以上 清掃頻度 : 2 回/年 以上 (汚泥引抜対象単位装置名 : 汚泥貯留槽、予備ろ過槽)
6. 構造方法の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥貯留槽、流量調整機能を有する予備ろ過槽、担体流動槽、生物ろ過槽および消毒槽を組み合わせた合併処理浄化槽 <p style="text-align: center;">〔 固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式 FCW型 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槽の構造は、FRP 製円筒横置槽と FRP 製角形横置槽がある。
7. 参考事項	FCS 型 5~50 人について評定 (BCJ 基評 - JS0051-01) を取得済。 <ul style="list-style-type: none"> ・処理方式が同じである。(固液分離型流量調整機能付担体流動生物ろ過循環方式)

8. 装置の概要	
(1) 処理方式	固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式 FCW型
(2) 処理対象人員	51~1,500[人]
(3) 日平均汚水量	10.2 ~140[m ³ /日]
(4) 流入水質	BOD : 50~600[mg/L] S S : 250[mg/L]以下 n-Hex : 25[mg/L]以下
(5) 処理水質	BOD : 20[mg/L]以下 S S : 15 [mg/L]以下 n-Hex : 3[mg/L]以下 pH 5.8~8.6 大腸菌群数 3,000 個/cm ³ 以下
(6) 処理工程	<pre> graph TD Inflow[流入] --> SLS[固液分離部] subgraph SLS_Box [1) 汚泥貯留槽] SLS SLS --> SS[汚泥貯留部] SS --> SLS end SLS_Box --> PFT[予備ろ過槽] subgraph PFT_Box [2) 予備ろ過槽] PFT PFT --> FA[流量調整部] FA --> PFU[予備ろ過部] end PFT_Box --> CFL[担体流動槽] CFL --> BFT[生物ろ過槽] BFT --> DST[消毒槽] DST --> Discharge[放流] CFL -.-> 循環水 SLS_Box BFT -.-> 逆洗水 PFT_Box </pre>